



朝日子だより

社会人編 Vol.17

吉田高校の皆さんへ

富士五湖消防本部で初となる女性消防職員として、将来は救急救命士として勤務することを目指して日々訓練に励んでいます。夢の実現にむけた取り組みは、高校・大学・社会人になっても同じです。みなさんの進路実現に向けて参考になればうれしいです。

堀内 実生（平成24年度 普通科卒）

富士五湖広域行政事務組合 富士五湖消防本部 予防課所属
千葉科学大学 危機管理学部 医療機器管理学科救急救命学コース卒

仕事の内容

富

士五湖消防本部での業務は主に大きく分けて6つあります。

①警防 普段、紺色の活動服を着ています。火事の際には防火服を着て火災現場へ行き火を消します。また、交通事故現場での救助活動、管轄地域の水利（防火水槽・消火栓）の調査なども実施します。

②救助 普段、オレンジ色の救助服を着ています。水難救助隊、山岳救助隊、救助隊がありそれぞれの現場に応じて出場します。吉田署にははしご車もあり、高所での救助も可能です。富士五湖消防本部内において救助隊になるための試験を突破したものが就ける部隊です。

③救急 普段、グレーの救急服を着ています。救急隊は、急病、一般負傷など、救急車が必要な現場へいち早く駆け、適切な応急処置、救急救命処置をしながら病院まで運びます。救急救命士の資格を取れば、救急隊員にはできない処置をすることができます。

④予防 普段、制服を着て業務を行っています。主に、建物に行き消防用設備が法律に基づき設置され、正常に作動するかどうか検査を行うことや、危険物施設の維持・管理が適正にされているかどうかを確認しています。

⑤指令 消防署内の指令室で活動しています。地域住民からの119番通報、火災の通報に対応し、的確に署所に指令を流します。また、119番通報では口頭指導をし、バイスタウンダーによる応急手当を促します。

⑥総務 消防本部全体のこと（職員・庶務など）、消防団員に関すること、救命講習に関すること、イベントの企画に関することなどを担当、管理します。

○警防・救助・救急・指令は24時間勤務の当直、予防・総務は日勤を基本として勤務しています。



職場の様子

階

級社会なので上下関係はしっかりしていますが、経験のある上司が若手消防吏員をしっかり育ててくれる職場です。志の高い職員が多く、消防救助技術大会等の全国規模である大会で優秀な成績をおさめる職員もいます。また、より良い住民サービスができるよう各消防署で日々訓練をし、有事に備えています。富士五湖消防本部全体で高めあい、とても活気がある向上心に満ちた職場です。

消防吏員になり一番初めに行く消防学校では、県下10消防本部の新入消防吏員全員が集まり、消防人としての使命感と基礎的知識や技術を学びます。8か月間、楽しいことばかりでなくきついこともあります。大切な仲間たちと、寮生活を送り、訓練をやり遂げることは、他にはない達成感を味わうことができます。*消防吏員=消防官。消防本部及び消防署に置かれる市町村の職員で階級を有し、制服を着用し、消防事務に従事する者のこと。



就職前と就職後の印象の差



就

職する前は、消防はやっぱり男でなければ役に立たない職場なのかなと思っていました。実際に働きだして、圧倒的に男性職員が多く、訓練も男性と同じことをし、それなりにきついので、男の職場だと思いました。しかし、これからは建物も女性の施設が整いますし、他消防本部の女性の先輩と話をしたり、女性消防吏員が活躍したりしているという話を聞き、これから女性が一層活躍していかなければならないのだと改めて感じました。

学生と社会人の違い

学

生と社会人の違いとして思いつくのは“責任”や“お金”に対する捉え方だと思います。そして、それらはとても大切なことですが、私がこの一年間働いて感じたことは、それだけでなく“誰のためにどれだけ頑張れるか”ということだと思います。学生時代は、自分のために勉強を頑張ったり部活動を一生懸命にしていたと思います。（中には、家族のために頑張っていた人もいられるかもしれませんが…。）しかし、社会人になればほとんどの職業が自分のためではなく、相手のためになるのではないかと思います。例えば消防では市民のため、学校の先生であれば生徒たちのため、など。ですから学生の間は自分のために時間を使い自分のために頑張る、将来は人のために頑張れる人になってほしいと思います。

いま役に立っていると感じる 高校時代の経験



私

は高校時代、バスケットボール部に所属していました。楽しいことがたくさんありましたが、正直、辛かったりうまくいかなかったり悩んだこともあり、何度も泣きました。失敗もたくさんしました。しかし、仲間や先生、家族、多くの人に支えられながら乗り越え、絶対に逃げず、諦めませんでした。どうしたらうまくいくか考え、努力しました。身体的、技術的能力がない分人一倍練習するよう心掛けました。諦めないことや考えること、日々努力し続けることは、消防職ではそれが全てと言っていいくらい大切なので、その経験は今とても役に立っています。

女性初の女性消防職員としての苦勞、大変さ

4

月で、富士五湖消防本部初の女性消防吏員として1年を迎えます。この1年、大変だったことはそんなにありません。上司、同期の皆さんのおかげでとてもよい環境で働かせていただきました。強いて言えば、期待やプレッシャー、責任にどう応えるべきか悩み苦勞しました。同期の男性消防吏員と同じ様に働いていても、“富士五湖消防本部初の女性消防吏員”というだけで注目されます。そして、後に入ってくる女性消防吏員がいます。そのようなプレッシャーや責任も、私だけであればやりたいうようにしますが、社会人としてそうはいかないので、自分自身の意志と、自分以外の立場になって物事を考え行動することや、意見を述べなければならぬことが少し大変だと感じました。



吉高生へのメッセージ

時

間は限られています。吉高生の皆さんはほとんどの方が進学すると思いますが、ぜひ、大学生活では、たくさんの人とかかわり、広い視野で物事を見て、経験して、成長して、社会人として働くまでの時間を有意義に過ごしてください！！

大学時代に打ち込んだこと

私

が、大学時代に打ち込んだことは2つあります。

1つ目は、公務員の試験勉強です。1，2年生の時は、そんなに遊んだりせず、公務員試験のための勉強に打ち込んでいました。おかげで、いくつか受験した公務員試験の筆記試験では、合格することができました。

2つ目は、サークル活動です。私は3年生になってから、本と向き合っただけの学生生活はもったいないと気付き、仲間たちと一緒に“セツルメントサークル”というサークルを立ち上げ活動しました。活動内容としては、小学生を中心とした防災の教育や応急手当の心肺蘇生法の実技を一緒に行ったり、障がい者の方たちとスポーツをしたりしました。そこでは、ただ教える、体験するだけでなく、一緒に学んでいくという姿勢で活動していたので、私自身も学び、考えることができ、とても素晴らしい時間を過ごすことができたと思っています。



採用試験の大変さ

吉

田高校に通っている皆さんなら、筆記試験は勉強すればある程度直ぐに理解できると思います。しかし、体力試験や面接試験は、普段から体力錬成をし、また、様々な活動に積極的に参加し経験しなければ対応することができません。限られた時間を、いつどこで何に使うか、そして試験当日までにどれだけ準備できるかが大切で、大変でした。

現在の仕事のやりがい

皆

さんに「消防士の仕事は何だと思いますか？」と問いかけたら、火災現場で火を消す消火活動や、災害時の救助活動、119番通報での救急活動を思い浮かべると思います。しかしそれだけが、消防士の活動ではありません。「火災の発生を未然に防止し、火災による生命や財産の被害を軽減する」ことを目的とした予防業務も消防吏員の重大な任務であり、私はそれを業務とする予防課というところで現在勤務しています。ポンプ車やホース、水など使わず、知識をしっかり持っていれば多くの人を火災から守ることができるというのは予防課の魅力であると思います。配属されたばかりでやらなければならないことがたくさんありますし、知識もまだまだですが、悲しむ人をひとりでも少なくするために、日々学び、経験することはとてもやりがいを感じます。